

11/22

初冬恒例みそ作り教室 ウイメンズネットワーク洞爺湖

ウイメンズネットワーク洞爺湖（青木佐智子代表）が、初冬恒例のみそ作り教室を虻田ふれ合いセンターで開催し、約25人が手作りみその仕込みを楽しみました。

参加者たちは、慣れた手つきで大豆15キロと米麴15キロ、塩1・8キロを練り合わせみそを作り上げました。

大豆を煮ている時間を使い、玉ねぎ井などの玉ねぎ料理3品を調理し、みんなで楽しく試食しました。



手作りみその仕込みを行う参加者

11/21

洞爺湖ロータリークラブ 町内5小中学校に本を寄贈

洞爺湖ロータリークラブ（吉田聡会長）は、町内5小中学校に、各学校が選書した本を合計164冊贈りました。吉田会長と三浦青少年奉仕委員会委員長が教育委員会を訪問し、遠藤教育長に目録を手渡しました。

「考える力」の育成を目的に、1校3万円以内で本を寄贈して4回目。今年は、同ロータリークラブの創立50年を記念して1校当たりの金額を倍増しました。



図書を寄贈した洞爺湖ロータリークラブの吉田会長（中央）と三浦委員長（右）

11/24・11/25

一足早いクリスマス気分満喫 とうや水の駅でクリスマスフェア

クリスマスを控え、とうや水の駅で、洞爺まちづくり観光協会が主催するクリスマスフェアが開かれ、プレゼントなどを求めるカップルや家族連れで賑わいました。

同フェアは今年で9回目。会場では、布小物やアクセサリー、雑貨、軽食、お菓子などが販売され、町内外から34店が出店。このほか無料のゲームコーナーやビンゴ大会もあり、訪れた人たちは、一足早いクリスマス気分を楽しみました。



多くの人でにぎわったクリスマスフェア

11/23

自分の運動能力を知る 町民体カテスト会

自分の運動能力を知り、体力づくりに役立てようと平成30年度町民体カテスト会が、あぶた体育館で開かれました。

洞爺湖町スポーツ少年団主催の部では、野球、水泳、剣道、スキーなどの各少年団約40人が参加。立ち幅跳び、5分間走など5種目に挑戦しました。

一方、洞爺湖スポーツクラブ主催の町民体カテスト会も同時に開催。65歳以上の町民10人が、握力測定など6種目に挑みました。



元気に立ち幅跳びをする児童

12/6 地域住民が交流と親睦 体振連ミニバレー大会

地 域住民の交流を目的に、町民ミニバレー大会（洞爺湖町体育振興連絡会主催）が、洞爺中学校体育館で、8チームが参加して行われました。

試合は、1チーム4人が、4チーム2ブロックに分かれ、予選リーグを行い、各ブロックの1位と2位が決勝トーナメントで競い合いました。

決勝は、きり丸（洞爺地区）とシュリンプアボガド（温泉地区）の対戦となり、2対1で、きり丸が優勝しました。



優勝を飾ったチームきり丸

11/27 災害への備えを学ぶ 防災研修会

自 然災害に備えようと防災学習会（ウイメンズネットワーク洞爺湖主催）が、役場防災研修ホールで開かれ、きずな学級の受講生など約60人が参加しました。

当日は、洞爺湖有珠山ジオパークと災害時のLPガスの安全策の話聞き、日赤奉仕団の宝積ナヨ子さんが、ポリ袋を使った節水料理として、混ぜご飯づくりを紹介。午後からは避難所運営ゲームを実施し、避難所の運営方法を学びました。



節水料理を試食する受講生たち

12/10 思いやりの心を育む 温泉小に「人権の花」運動感謝状

室 蘭人権擁護委員協議会と札幌法務局室蘭支局による「人権の花」運動感謝状の贈呈式と人権教室が、洞爺湖温泉小学校で開かれました。

今年の春、同協議会から学校へ贈られてきたビオラなど99株の「人権の花」を、学校花壇で育ててきた児童を代表して堀翔真くん（2年生）に感謝状が贈呈されました。

引き続き3、4年生を対象に人権教室も行われ、思いやりの気持ちを学びました。



「人権の花」運動感謝状を受けた洞爺湖温泉小学校

12/9 地域を一つの家族に 自治会連合会研修会

平 成30年度洞爺湖町自治会連合会の研修会が虻田ふれあいセンターで、約90人が参加して開催されました。

最初に伝達・表彰式が行われ、北海道町内会連合会功労者特別表彰を奥山耕一さんと大和芳勝さんが受賞し、13人が自治会連合会会長表彰を受けました。

引き続き「地域の絆と支え合い」をテーマにNPO法人シーズネット孤立担当の杉谷憲昭理事が講演を行いました



杉谷さんの講演を聞く皆さん